



西26002変更
2026年5月

検査内容変更のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、下記項目におきまして、検査委託先(株式会社エスアールエル)より検査内容変更の連絡がございましたので、ご案内いたします。

ご利用の先生方には何卒ご理解賜りますよう、お願い申し上げます。

謹白

記

■ 対象項目および実施日

【実施日】 2026年 7月 2日(木)ご依頼分より

【対象項目】 2頁目以降をご参照ください

以上

検査のご依頼に関するご不明な点やご要望等につきましては、弊社営業担当または学術インフォメーションまでお問い合わせ下さい。TEL:075-631-6230



■ 対象項目

項目コード	検査項目	変更内容	新	現	検査案内掲載頁	備考
3379	フォン・ウィルブランド因子抗原定量	検査方法	ラテックス免疫比濁法	ラテックス凝集反応	P67	測定試薬変更に伴う、検査方法(方法名)、基準値、報告範囲の変更
		基準値(単位)	非O型:66~176 O型:42~141 (%)	50~155 (%)		
		報告範囲	9未満、9~999、 1000以上	5以下、 6~99900000		
4005	フォン・ウィルブランド因子活性(リストセチンコファクター)	検査方法	ラテックス免疫比濁法	固定血小板凝集法	P67	測定試薬変更に伴う、検査方法、基準値、報告範囲の変更
		基準値(単位)	非O型:61~240 O型:48~202 (%)	60~170 (%)		
		報告範囲	7未満、7~480、 481以上	6以下、 7~99900000		
3336	ヒト絨毛性ゴナドトロピン(HCG)	項目名称	絨毛性ゴナドトロピン(β HCG)	ヒト絨毛性ゴナドトロピン(HCG)	P22	測定試薬変更に伴う、項目名称、基準値、報告範囲の変更
		基準値(単位)	4.0以下 (mIU/mL)	2.7以下 (mIU/mL)		
		報告範囲	1.3未満、 1.3~99900000	1.0以下、 1.1~99900000		
1235	膾グルカゴン(IRG)	基準値(単位)	空腹時8.8~45.2 (pg/mL)	空腹時5.4~55.0 (pg/mL)	P24	測定試薬変更に伴う基準値、報告範囲、備考欄の変更
		報告範囲	3.0未満、 3.0~1990、 2000以上	3.5未満、 3.5~999999.9		
		備考欄	指定の容器(I1)に採血し、よく混和させ、1時間以内に低温(4℃)で血漿分離し、ただちに凍結保存してください。他項目との重複依頼は避けてください。溶血での依頼は避けてください。	-		



項目コード	検査項目	変更内容	新	現	検査案内掲載頁	備考
0882	ハプトグロビン (Hp)	項目名称	ハプトグロビン (型判別)	ハプトグロビン (Hp)	P38	測定試薬変更に伴う、項目名称、検査方法、保存(安定性)、検体量の変更 項目構成変更に伴う変更
		検査方法	TIA	ネフェロメトリー		
		保存 (安定性)	冷蔵 (28日)	冷蔵		
		検体量	0.6mL	0.5mL		
		報告範囲	親: - 子1: Hp濃度: 1未満、 1~99900000 子2: Hb型判別: -	親: 10以下、 11~99900000 子1: 型: -		
3259	TRACP-5b (骨型酒石酸抵抗性 ACP)	基準値 (単位)	女性 閉経前 120~420 閉経後 250~770 (mU/dL)	女性 (YAM) 120~420 (mU/dL)	P12	ガイドラインに従った試薬添付文書記載の基準値変更に伴う変更
0873	α 1酸性糖蛋白 (α 1AG)	所要日数 (日)	3~6	3~5	P38	所要日数の変更
0874	α 2マクログロブリン (α 2-MG)				P66	



項目コード	検査項目	変更内容	新	現	検査案内掲載頁	備考
3814	EGFR変異解析v2.0	備考欄	<p>採取された組織は速やかに10%中性緩衝ホルマリン溶液に浸漬し、固定を行ってください(推奨固定時間は6~48時間)。12か月以内に作製したホルマリン固定パラフィン包埋(FFPE)ブロックより10μmの厚さにて連続切片を作製し、薄切後60日以内にご提出ください。なお、薄切時には検体ごとにマイクローム刃を交換するなど、コンタミネーションに充分ご注意ください。また、組織のホルマリン固定により核酸が断片化されているため、固定液の種類や組成、固定時間、固定後の検体の保存状態によっては、解析不可能となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。</p>	<p>提出の際には、HE染色標本により腫瘍細胞が確認されたホルマリン固定パラフィン包埋組織ブロックより10μmの厚さの連続切片にてスライド作成願います。作成した未染標本スライドは、マップケース(U容器)に入れ、室温保存にてご提出下さい。なお、病理検査材料は、組織のホルマリン固定によりDNAが断片化されているため、固定液の種類や、固定時間といった保存状況、保存年数によっては、解析不可能なことがありますので、あらかじめご了承ください。</p>	P98	<p>試薬添付文書に合わせた内容に備考を変更</p>



● 病理専門医の変更

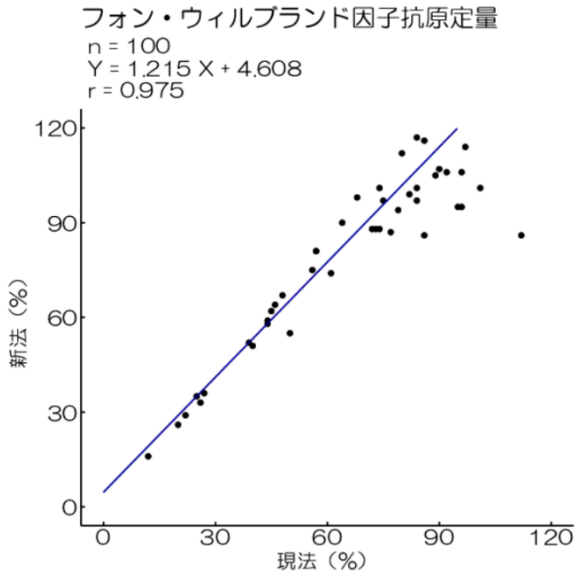
病理専門医の変更に伴い、下記項目の「分画子:病理専門医によるレビュー」または「分画子:医師による判定」の病理専門医名が変更となります。

項目コード	検査項目	検査案内掲載頁
4382	乳癌 <i>HER2</i> 遺伝子 (FISH)	P98
0970	乳癌 PD-L1タンパク (IHC) SP142	非掲載
3990	胃癌 <i>HER2</i> 遺伝子 (FISH)	P98
0540	肺癌 PD-L1タンパク (IHC) 22C3	
0560	肺癌 PD-L1タンパク (IHC) 28-8	
0490	肺癌 PD-L1タンパク (IHC) SP142	非掲載
0989	肺癌 PD-L1タンパク (IHC) SP263	
4820	肺癌 ALKタンパク (IHC) D5F3	
4835	頭頸部癌 PD-L1タンパク (IHC) 28-8	
-	CLDN18タンパク (IHC)	
-	大腸癌 <i>HER2</i> タンパク (IHC)	
-	大腸癌 <i>HER2</i> 遺伝子 (FISH)	
-	食道癌 PD-L1タンパク (IHC) 28-8	
-	<i>FGFR2</i> 融合遺伝子 (FISH)	
-	MMRタンパク (IHC)	



● フォン・ウィルブランド因子抗原定量

▼現法と新法の相関図



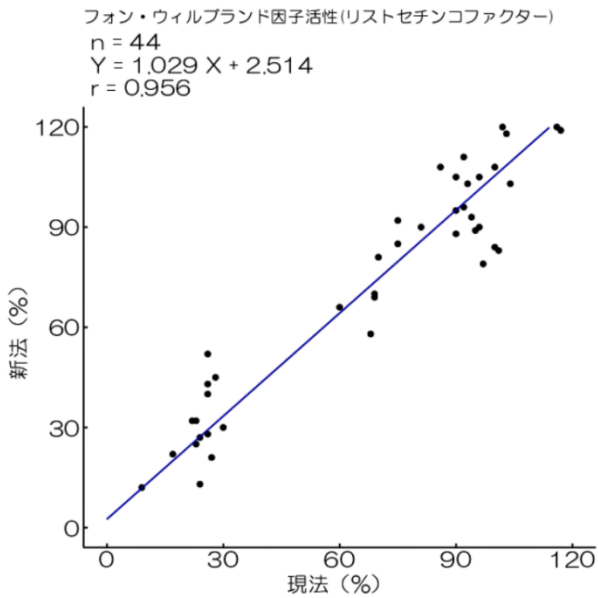
【委託先検討データ】

●参考文献

測定法:Stufano F. et al:Haemophilia 20(1):147~153, 2014.

● フォン・ウィルブランド因子活性(リストセチンコファクター)

▼現法と新法の相関図



【委託先検討データ】

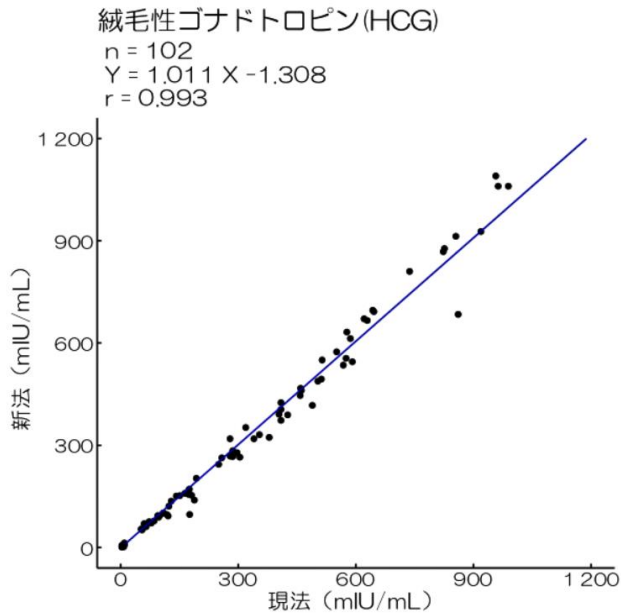
●参考文献

測定法:Stufano F. et al:Haemophilia 20(1):147~153, 2014.



● ヒト絨毛性ゴナドトロピン(HCG)

▼現法と新法の相関図



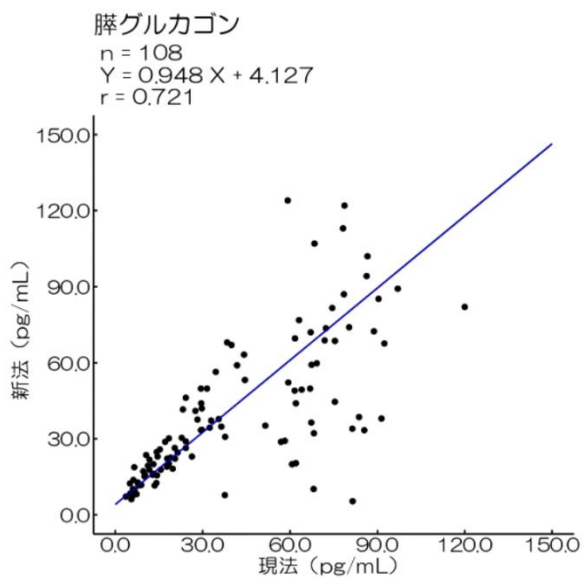
【委託先検討データ】

●参考文献

測定法: 高橋 亘, 他: 医学検査57(4):404, 2008.

●脛グルカゴン(IRG)

▼現法と新法の相関図



【委託先検討データ】

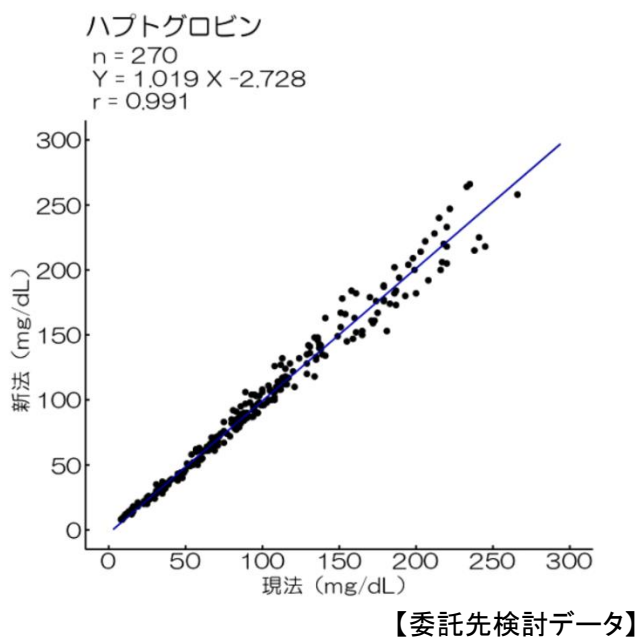
●参考文献

測定法: 北村 忠弘, 他: 医学と薬学82(4):229~239, 2025.



● ハプトグロビン(Hp)

▼現法と新法の相関図



●参考文献

測定法:伊藤 忠一:検査と技術 22(5)増刊号:42~43, 1994.